

発大議 第 488 号
平成 24 年 11 月 30 日

大山町長 森 田 増 範 様

大山町議会議長 野 口 俊 明

平成 24 年 10 月に開催した第 6 回大山町議会報告会の際に、参加された
住民から行政に寄せられた意見・要望等について（報告）

大山町議会は、議会の仕組みや活動状況をご理解いただくこと、あるいは、議会情報
の提供や住民とのコミュニケーションを図る機会づくり、つまり住民と議会の距離
を縮める対話の場として、平成 22 年 4 月から、県下町村に先がけ大山町議会報告会
を開催しています。本年度も、さる 10 月 19 日（金）から 10 月 21 日（日）まで 3 日
間、保健福祉センターなわ、保健福祉センターだいせん、中山農村環境改善センター
の 3 会場で第 6 回大山町議会報告会を開催しました。

議会報告会では、3 会場合わせて 55 人のみなさんにご来場いただき、議会活動や議
会改革について、貴重なご意見を拝聴することができました。

この報告会では、参加者から議会に対する意見・要望のほか、行政に対する意見・
要望もありましたが、その内容について報告いたしますので、対処いただきますよう
よろしくお願いいたします。

記

1. 現在、町長と各集落との集落座談会は鋭意開催されていますが、例えば小学校
校区を単位として、住民と行政が直接的に対話のできる行政懇談会のような会の
設置要望がありました。
2. 財団法人大山恵みの里公社の法人化が検討されているが、法人化された場合、
町からの補助金はどうなるかという、大山恵みの里公社運営に対する町の関わり
方の質問がありました。
3. 地域休養施設山香荘は、グラウンドの整備を新たに行い、スポーツツーリズム、
グリーンツーリズムを指向する方向転換が図られるとのことだが、その運営方針
がまだ決まっていないと聞く。来春の開業に向け、もう営業活動を開始しないと
いけない時期にさしかかっているにも関わらず、スピード感がない。経営状況に
影響するのではないかと、という意見がありました。

4. 昨年の東日本大震災での津波による被害状況を勘案し、沿岸部各地に、24年度 海拔表示板が設置されたが、その数は少ない。もっと広範に、海拔表示板を設置してもらいたい、という要望がありました。
5. 地域に埋もれた、住民にさえ知られていない観光資源、歴史・文化が町内には多く存在する。これらの掘り起こしや、地域住民との連携により、具体的には地域住民によるもてなし、農産品、特産品の販売等であるが、観光振興或いは地域の活性化に結びつく取り組みができればよい、という意見がありました。